

# 博多とみひろ新聞かわら版

発行元:園長  
発行日:きまぐれ

**ご注意**  
お迎え後に、お  
お子様から目を離  
されますと大変危  
険です。また、お停  
めの車は、次の方  
の為に速やかに  
お譲り下さい。ご協  
力の程よろしく願  
い致します。

## 夏の敵〜暑さや湿度

運動会の頃から、ようやく涼しくなりましたが、今年の夏は非常に暑い日が続きましたね。過去の月平均気温をみても、平均気温が30℃を越える事が多く、数年前よりも確実に気温が高くなっています。夏ならではの植物や生き物なども沢山ありますが、なかなか外に出られない日々が続く、子ども達もお部屋での活動などが多くなり我慢する事も多かったと思います。涼しくなるこれからは思いっきり体を動かして、伸び伸びと過ごして欲しいと思います。



秋は食欲の秋、紅葉狩り、ハロウィンなど楽しいイベントもある季節です。屋外での活動や自然と触れ合う機会も増え、公園で遊んだり、自然散策を楽しんだりするのも心地よく感じることでしょう。



## 環境の見直し(第二弾)

日本中が厳しい暑さで頭をかかえている中、保育園では別の意味で、熱い話し合いが行われていました。以前から「保育環境の見直し」という事をテーマに話し合いを進めてきておりましたが、今年度は思い切った3クラス(そら組、つき組、ひかり組)の部屋を大改造する計画を立てました。

子ども達の主体性や自主性を育むために、『子ども達自分ですしたい事を考え、その方法を見つけて達成する事ができる環境』を整えたいという思いから始め、幼児保育の評価が高いヨーロッパの空間作りを参考にしながら保育の動線、子ども達の活動や効果、新たなルール作りなど丁寧に話を進めてきました。

1日の活動の流れが変わり、初めの頃は戸惑いがあるかもしれませんが、その過程を通じて新しい環境に慣れ、興味や関心を広げていく事で、子ども達は日々成長していくと考えています。新しい環境の中で、子どもたちの可能性を引き出されることを期待しています。

※納品など搬入等でご迷惑をお掛けする事もあるかもしれませんが、ご協力お願い致します。

(左図はイメージです)



## 子ども達との関係

当園では、クラスごとの会議やフロア別の会議を行い、日々の保育の向上に努めております。

その会議の中で、先生たちの率直な意見として「子どもらしくない言葉遣い」「コミュニケーション力(対話の力)の低下」など、これまででは、あまり出てこなかった課題が多く出てくるようになりました。

幼い子ども達ですが、日々の保育活動を通じて、少しずつ社会性を育んでおり、他者との関わり方や自己の表現に必要な「考える力」が発達において重要とされています。

多様化する現代において、課題への要因は様々なものがあると考えられますが、専門家からは、スマホなどのデジタル機器が普及し、便利となった一方、会話や対話の質が子ども達の脳に悪影響を与えているという指摘もあります。

また、ここ数年のコロナ禍で様々な経験や、人との関わる時間・機会が失われた事が影響しているかもしれません。

しかし一方で、9月6日にカナダの6歳の女の子が幼稚園に通いながらYouTubeを見て、小学校3年生レベルの算数を独学で学び、「世界最年少女性ビデオゲーム開発者」としてギネス記録に認定されました。クリエイティブティ(創造力)という観点から新しいスキルや知識を与えた結果でもあります。便利なツールも適切な使い方が重要ですね。

いづれにしても、我々、保育者は時代と共に変わる社会に  
応じて、子ども達との関わり方を柔軟に変化させながら、子ども達の発達と成長をサポートしていく必要があると考えております。

今後も様々な経験や交流などの機会も増やせばと考えております。脳の発達には、「イライラしない(情緒の安定)」「他者の感情の理解」「様々なことへの興味・関心」などあらゆる成長に不可欠です。

ご家庭においても、お子さんのそばにいる時間は、目と目を合わせ、たくさんのお話や触れ合う時間を楽しんで欲しいと思います。我が家にも高2の息子がおりますが、成長はあつという間です。